

平成31年度
刈谷市障害者計画・刈谷市障害福祉計画・刈谷市障害児福祉計画
懇話会

日 時 令和元年10月28日(月)午後1時30分～午後3時00分
場 所 刈谷市役所 1F101会議室
委 員 (敬称略)

<出席者> 13名

愛知教育大学	名誉教授	都 築 繁 幸
刈谷市歯科医師会	副会長	酒 井 寿 人
刈谷市民生委員・児童委員連絡協議会	副会長	水 谷 さわ子
刈谷市ボランティア連絡協議会	顧問	塚 本 秀 子
刈谷市社会福祉協議会	会長	杉 浦 芳 一
社会福祉法人 観寿々会	施設長	橋 口 磨理子
刈谷市障害者支援センター	所長	相 澤 道 子
刈谷市肢体不自由児・者父母の会	会長	藤 井 孝
刈谷手をつなぐ育成会	会長	篠 原 真由美
刈谷市地域精神障害者家族会	会長	長 谷 川 宏
刈谷児童相談センター	主査	河 合 清 香
刈谷公共職業安定所	就職促進指導官	福 島 洋 子
刈谷市教育委員会	委員	鶴 田 英 孝

<欠席者> 5名

刈谷医師会	副会長	世 古 口 凡
刈谷市薬剤師会	副理事	福 島 恵 子
刈谷市身体障害者福祉協会	会長	平 野 健 司
刈谷地区心身障害児者を守る会	副会長	榎 島 はつき
衣浦東部保健所	健康支援課長	木 戸 美代子

(事務局)

福祉健康部	部長	宮 田 俊 哉
〃	福祉総務課 課長	迫 将 一
〃	〃 課長補佐	山 岡 達 也
〃	〃 障害企画係長	大 嶋 英 亜
〃	〃 主任主査	鈴 木 邦 嘉
〃	〃 主事	眞 野 浩 志

1 開会

資料の確認

- ・ 次第
- ・ 刈谷市障害者計画、刈谷市障害福祉計画・刈谷市障害児福祉計画【資料1】
- ・ 刈谷市障害者計画の進捗状況【資料2】
- ・ 刈谷市障害者計画・第5期刈谷市障害福祉計画・第1期刈谷市障害児福祉計画概要版

2 報告

報告（1）障害者計画の進捗状況について

会 長 報告（1）について、事務局より説明をお願いします。

事 務 局 障害者計画の進捗状況についての説明【資料1 P1～P7】

会 長 ただ今の説明に対し、意見や質問はあるか。

委 員 ヘルプマークの配布対象人数を約4,300人と見込んでいるとのことだが、障害者手帳の所持者数は約6,150人で実際に配ったのが約1,000個。この数の差はどういったものか。まだまだ配布や啓発が足りていないということか。

事 務 局 障害者手帳所持者全員が対象ではなく、内部障害のある人や妊娠初期の人等を対象者と見込んでおり、数に相違がある。

委 員 街中や電車内等でもあまりヘルプマークを身に付けている人を見かけない。事業の目的は達成しているか。

事 務 局 ヘルプマークは配布して終わり、という事業ではなく、配布後にどう活用していくかが重要と考えている。市では全職員を対象に差別解消法に関する研修を行う等の取り組みをしているが、本人や周囲の人への啓発をどのように展開していくかを今後も検討していく。

委員 民生委員の会議では、ヘルプマークは度々紹介されていて、委員は全員ヘルプマークがどのようなものを把握しており、必要と思われる人には申請を勧奨している。当初はヘルプマークの認知度について私も懸念していたが、民生委員の立場からすると、普及していると感じる。

委員 5ページの重点課題③にある地域移行希望者への状況確認はどのように実施したか。

事務局 愛知県が施設入所者に対して聞き取りしてリストアップした地域移行希望者に面談を実施した。刈谷市では対象者が5人みえて、その中の2人に直接、地域移行の確認を行った。結果としては継続して施設での生活を希望する人が多く、地域移行できる人はいないのが現状である。引き続き取り組むべき課題と考えている。

委員 7ページに市内の法定雇用率達成企業が半数にも満たないとあるが、正確な数値を教えてください。

事務局 平成30年6月時点のデータで、対象企業数が167社で、法定雇用率を達成している企業は75社(44.9%)となっている。

委員 要望であるが、7ページの「まちづくり」の項目【88】【90】に関して、今年、各障害者団体にJR刈谷駅の改修やバリアフリー基本構想に対してのヒアリングや街歩き調査を実施していただいた。今後も計画等の策定時に、障害者やその家族の意見を聞き入れる機会を幅広く設けていただきたい。今回細やかに意見を汲んでいただきありがたい一方で、どこまで実現していただけるのかを確認していきたいという思いもある。

委員 7ページの「まちづくり」の項目【94】で避難行動要支援者の個別支援計画についてはどのような取り組みや情報の共有をしているのか。

事務局 ある地区における個別支援計画策定のプロセスや取組事例を自主防災推進会議で発表することで、支援する側や地域の人々の意識の醸成、連携強化を図った。

報告（２）第５期障害福祉計画・第１期障害児福祉計画の進捗状況について

会 長 続いて、報告（２）について事務局より説明願う。

事 務 局 第５期障害福祉計画・第１期障害児福祉計画についての説明【資料１ P
8～P11】

会 長 ただ今の説明に対し、意見や質問はあるか。

委 員 8、9ページの「福祉施設の入所者の地域生活への移行」についてだが、28年度と比べて福祉施設に入っている人が81人から78人になったとある。入所待機者も数多くいると思うので、空いた部屋には入所してもらった方がいいのではないか。

事 務 局 施設入所者数については、国から減少するよう指針が出されており、結果全国的にも入所者数は減少傾向にある。市外の施設にも入居ができるためどこが空いているか、空床のままかどうかは把握できない。市内入所施設の待機者数が約180人であることや市内入所施設が増床したこともあり、維持する形で目標を81人に定めている。30年度が78人になったのは、死亡や入院が要因である。

委 員 要望であるが、現在、愛知県内に5つの医療療育センターが設立されているが、西三河南部西地域にはないのが現状である。医療療育センターが設立することによって、医療的ケア児への対応や入所の課題等がずいぶん改善するのではないかなと思う。難しい課題だとは思いますが、他自治体等との連携を図って、医療療育センターを設置するような取り組みを5年、10年かけてやっていただきたい。

委 員 3ページの(5)の障害福祉サービス・障害児通所支援の給付費についてだが、資料の通り今後も給付費は伸びていくと思われるが、今後の給付費の伸び率の見通しはどのようなものか。

事務局 29年度から30年度の伸び率が若干減少しているのは、非常に利用が多かった人が亡くなったり、利用するサービスが変わったりしたのが主な要因である。それを踏まえても前年度を下回る等の減少はないと思われる。

委員 会員の多くが災害時の緊急対応について重く考えている。私たちに頼りなみに勉強会等を開いているが、行政にも重点的に取り組んでいただけたら嬉しい。
ヘルプマークについてだが、事業所や学校によっては、移動の時に、所持を促しているところもある。普及の一環としてそのような動きはどうか。

委員 ヘルプマークを付けることで、周囲からどう見られるかが気になるので付けたくないという人も一定数いる。着用を義務付けるのは難しい部分もある。付ける側というより周りの人の見方や心持ちが変わっていくのが重要と考える。

委員 ヘルプマークは基本的に自己申請するものであり、障害があるとみられたくない人もいるのでご家族の判断に任せているのが現状。
別件だが、かりまるバスの運転士の方々がとても福祉に関する理解があって、何かあれば事業所に電話していただいている。かりまるバスは障害のある人にとって使いやすい環境になったと感じている。

委員 身近に障害に関する要素がなくてヘルプマークが何なのか全然知らない人もまだまだたくさんいる。より多くの機会を市民の身近な場所で設けて、ヘルプマークの意義や大切さを啓発していくことが大事だと思う。

委員 8ページの(4)福祉施設から一般就労への移行等の項目についてだが、就労移行支援事業所から一般就労に繋がるのが、ハローワークとして重視している点である。資料でも就労移行支援の利用者数が減ったとあるので、就労移行支援に人が集まるようなイベントを検討していく必要があると考えている。現在、企画しているイベント等もあり、それを含めて刈谷市と連携していければと思う。

会長 ありがとうございます。当懇話会は資料2にある各事業の進捗状況をチェックするのが最大の役割となる。各事業の進捗状況の評価は担当課の自己評価なので、外部からの忌憚のない意見が必要である。私たちの存在

意義はPDCAサイクルのC、チェックに当たり、この機能がなければアクションに繋がらない。次回以降も積極的な意見をお願いしたい。福祉の分野では、1人2人と言った小さい数字が非常に重要。地域全体でたった1人のために動くことが、必要な場合もある。こういった数字の意味も含め、積極的に皆さんの意見を取り入れて施策を進めていきたい。今後ともご協力をお願いします。他に意見がなければ、福祉健康部長から総括をいただきたい。

部 長 本日は、貴重かつ多岐に渡る意見をいただき、誠にありがとうございました。7月に新しい市長が就任致しまして、選挙公約の中で障害者や高齢者の生活支援を重点的に取り組む施策を掲げています。公約に基づいた施策を着実に推進していきたいと思えます。

また、発達障害の子どもや医療的ケアが必要な子どもの関連も含め、年齢や障害種別等に関わらず切れ目ない施策の充実に取り組んでいきたいと考えております。教育、子育て、医療等いろいろな分野との連携が必要となってくるので、そのためにもこの懇話会で貴重なご意見をいただいて、新たな施策を考えていきたいと思っていますので、よろしくお願ひします。

会 長 「その他」ということで、事務局から何かあるか。

3 その他

事 務 局 この懇話会は、今年度は1回の開催となる。来年度は策定の年度となり、年間で3回の開催を予定している。ご協力をお願いします。

4 閉 会

会 長 以上をもちまして本日の懇話会を終了する。ご協力ありがとうございました。